

新入生諸君、新聞星人になろう！

はね じ たつ じ
羽 地 達 次
歯学部・歯学科・教授

大学で学ぶこと

新入生の皆さん、御入学おめでとうございませう。希望に燃えて徳島大学の門を通ったことと思います。皆さんは、これから4年間または6年間、徳島大学の学生として勉学に励むこととなります。皆さんはまず、常三島キャンパスで、主として一般教養と基礎科目を学びます。その後それぞれの学部に移り、専門科目を勉強していきます。徳島大学で学ぶ学問に関しては、皆さんはもう漠然としながらも実体を掴んでいると思います。あるいはもう既に自分の興味ある学問の世界に身を置いていかも知れませう。ところがこれからの人生や自分の生き方等に関しては、大学においてはごく基本的なことしか教えてくれませう。これからはじまる学生生活を含めて、自分の人生を有意義に生きて行く為には、皆さんは大学では教えてくれないことを自分の頭で考え、先生、先輩または学友と議論して学んで行くこととなります。悩み、嘆き、そして悲しみながら成長していかなければなりません。時には絶望の淵に吸い込まれるようになるかも知れませう。その時に自らの力で解決出来るような幅広い知識と応用力を身につけなければなりません。その為には教科書以外の本を読む事も必須ですが、読書に加えて、私は新聞を読む習慣を是非身につけて貰いたいと思います。

新聞を読もう！

我々の日々の生活の中で、何気なく過ごす時間があります。その時間に私は皆さんには是非新聞を読む事を勧めます。新聞を読む事により、テレビやラジオでは得られない知識を得ることが出来ます。世の中の出来事を反芻しながら、自分で情報を整理することが出来ます。短い文章の中で、身震いするくらいの感動を覚えることが多々あります。これからの人生の指針を垣間見るようなことがあります。大学生になった暁に、一日のほんの短い時間を割いて是非新聞を読む習慣を身につけてほしいと思います。自宅通学の学生は親が読んだ後でも結構です、新聞を手にして、一面から一通り目を通してみて下さい。興味を持てるころがあれば、スポーツ欄でもテレビ欄でも三面記事でも構いません、読み進んで下さい。もし、興味がなければ、そのまま閉じて、大学に来て下さい。そのようにして、たとえ忙しくても毎日、新聞を続けるようにして下さい。卒業までには、きつと計り知れない量の知識が蓄積されているはずで、文章を書く力が自ずと備わってきています。自分で物事を解決出来る能力が備わってきているはずで、朝、朝刊を読む楽しみ、夕方、夕刊を読む楽しみを是非味わって下さい。

新聞を取ろう！

親元を離れて、はじめてひとり暮らしをする学生は、どの新聞でもかまいません、まず新聞を購読してみてください。大学に入って、ひとり暮らしをしている自分に対するご褒美として、投資してみてください。決して高いものではありません。新聞を取れば、必ず配達されてきます。一日の内、何時かはきつと読みます。購読しなければまず読む事はありません。食堂、喫茶店または図書館で読めると思ったら大間違いです。食堂ではまず、漫画を読みます。喫茶店はお話をする所で、ひとり新聞をよむ所ではありません。図書館に新聞を読みに行くことはまずありません。朝早めに起きて、登校前にコーヒーを飲みながら、じっくりと新聞を読む余裕を持って下さい。夜、ラジオを聞きながらじっくりと読んで下さい。その日すこして来たことを振り返る良い機会です。社会人の常識として、毎日、新聞を読む習慣をつけて下さい。知識の宝庫としての新聞をわざわざ捨てておく必要はありません。といつても新聞の記事をそのままのみに信用してはいけません。間違いや片寄った考えが随所に見られます。大学生にもなれば、常に批判的な態度を持って読むということを心掛けて下さい。さあ！徳大生になつた諸君も今日から新聞星人になろう。